最近の取組みについて

間瀬海太

鹿児島県長島町・地域おこし協力隊

間瀬海太

1994年8月15日生まれ。神奈川県横須賀市、逗子・葉山出身。

慶應義塾大学総合政策学部在学中。全国の高校生の「やりたいを実現できる力」を育てる一般社団法人全国FROM PROJECTの立上げに参加。2016年11月から大学を休学し、鹿児島県長島町で「長島大陸食べる通信」編集長、教育拠点・Nセンター所員、地域留学プログラム「島TECH」のプロデュースを行う。その他、小学校でのプログラミング授業提供など。









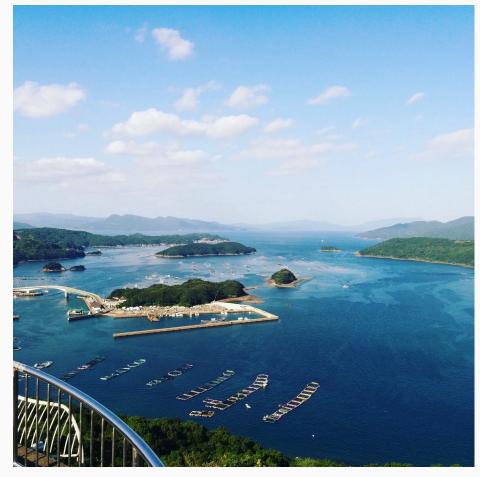


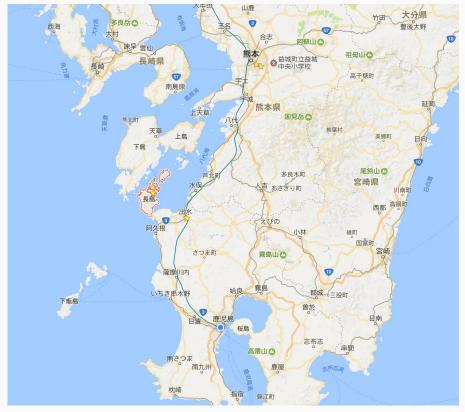












人口約1万人。鹿児島県最北端。

鹿児島県長島町とは?

阪急交通社との連携の効果

間瀬海太

長島大陸食べる通信・編集長

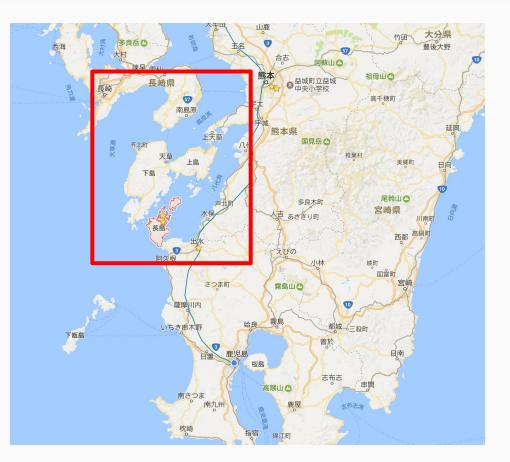
阪急交通社とは





株式会社阪急交通社は、阪急阪神ホールディングスの中核事業会社で阪急阪神東宝グループに属する日本の旅行会社、大手旅行会社の一つ。2015年度の旅行取扱高は業界第6位。

連携の経緯



もともとは、

体験型観光を進めたい阪急交通社と観光政策 を進めたい長島町の利害が一致して、阪急交 通社の長島大陸支店が昨年、11月1日に役場 内に設置された。

<町としての成果>

- 天草・長島地域の観光政策を会議を繰り返し実施。
- 長島町独自の観光政策として実施。(直 接観光プランを提案など)

連携の効果



実はまだ、実施していません。

現在、6·7月の開催に向けて過去の長島大陸食べる 通信で紹介された生産現場を巡る体験ツアーの企画 が進行中。



長島町地域おこし協力隊

間瀬海太

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民の二一ズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度である。

対象の転出地

都市圏

- ・3大都市圏内の都市地域 (下図1:A)
- 政令指定都市 (注1)
 (下図1: E, F, G, H)
- ・3大都市圏内の一部条件不利地域(注2)(下図1:Cの一部)



対象の転入地

地方部

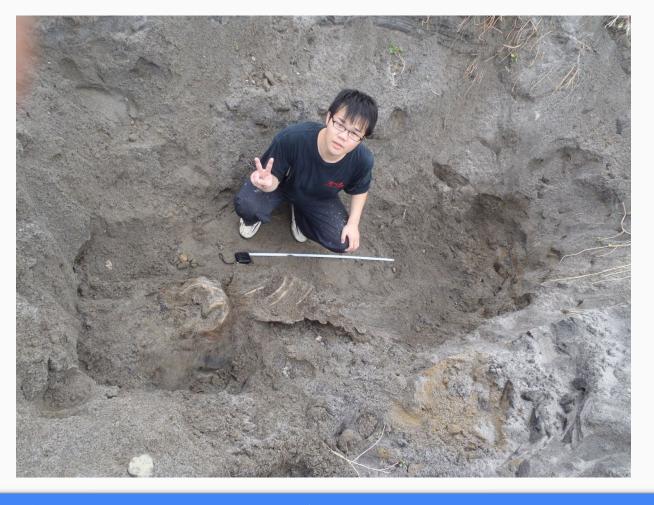
- ・3大都市圏外のすべての市町村 (下図1:B,D)
- ・3大都市圏内の条件不利地域 (下図1:C)



IT



食



教育



教育



行政連携 空き家



健康スポーツ



教育

ずっと自分のしたいことをして、生きてきた。

自分だけじゃなくて、 すべての人が自由に生きるにはどうしたらいい?

人が力強く生きるために「教育」はなくてはならないもの。 「教育」は人々のサポートなしには成り立たないもの。

地域に密着した教育プログラムを立ち上げたい。

問題①

地域で「ひとり」にならないためには?

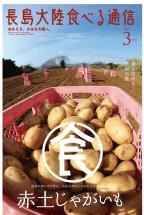
自分の仲間を増やす!

長島大陸の人々と取り上げ、長島大陸の人々とつくる 「長島大陸食べる通信」









生産者の「舞台裏」のストーリーを紙面にして3ヶ月に一回発行する「長島大陸食べる通信」で編集長を務める。

問題② 高校のない町で「教育」?

全国から高校生を集める!

北は北海道、南は鹿児島県まで、 全国の高校生が長島町に留学に来る。









現在の活動

問題③ 収入は・・・? 生活は・・・?

地域おこし協力隊として活動。

自治体と契約し、「地域おこし協力隊」として活動。 現在、元々空き家だった一軒家に住み、Airbnbを運営。





これまでのメディア出演

- 【ブース】多様なプロジェクトを支えるソーシャルプロデューサーの思い 鈴木寛研究会 | SFC CLIP: https://sfcclip.net/news2016111806/
- 鹿児島・長島町と慶大湘南藤沢、地方創生で協定 : 日本経済新聞 : http://www.nikkei.com/article/DGXLZO12910980U7A210C1LX0000
- 地域おこし隊に即戦力 :南日本新聞
- MBC「かごしま4」

日本經濟新聞

2017年3月11日 (土)

Web刊 **速報** ビジネスリーダー マーケット テクノロジー アジア スポーツ マネー ライフ 朝刊

全て 経済 企業 国際 政治 株・金融 スポーツ 社会 地域ニュース▼ プレスリリース

速報 > 地域ニュース > 九州・沖縄 > 記事

鹿児島・長島町と慶大湘南藤沢、地方創生で協定 2017/2/14 21:56